

8月8日(金) 移動(旭川・旭山動物園 ~ 吹上温泉・白銀荘) 快晴

○今日は 旭川の病院で首の痛みの診察を受け、旭山動物園へ行き、富良野岳の登山基地吹上温泉「白銀荘」へ。

- ・ 4時起床。首の痛みは大分良いがまだまだ痛い。昨夜書かなかった日記を書いたり、車内の内装変更などいろいろ考えて時を過ごす。今日は旭川の病院へ行くのだが、早すぎても病院はやっていないだろう。
- ・ 7:30 道の駅を出て旭川へ向かう。一面霧に覆われていたが国道だが東へ向かうに従って霧が晴れて太陽が顔を出し、旭川に 8時に着いた頃には真夏の鋭い日差しが刺していた。これから首の痛みを診察してもらう病院を探すのだが全く当てがない、どうしたものだろうかと道端に車を止めてナビの情報を探していたら、後ろに来たタクシーが「ここは駐車禁止だ」と。とっさに「そうか、タクシーの運転手に聞けば一番知っているだろう」と、聞いてみると、すぐそばの「森山病院」を紹介された。
- ・ 結構大きな総合病院で、看護婦が豊富に働いていて、みなきわめて愛想がいい。初診の登録をして9時の開診を待つ、今 8時45分。10時半を過ぎても音沙汰無いので忘れられたのではないかと「いつまで待つの」と聞いたら、「あと3人目」とのこと、一安心。11時前に呼ばれてお会いしたのが有山先生、状況をお話してレントゲンの撮影。12時前に再度呼ばれて診断結果の説明を受けた。「糖尿病ですか？」との質問にびっくり、「糖尿病ではないが高血糖です」。なぜ? 「レントゲン写真で首の所にカルシウムの沈殿の陰が見られる、これが痛みの原因です。」と明快な診断に感服。特に心配はなく痛みの引くのを我慢して待つこと、旅の続行は問題ないと、湿布薬を30枚も出していただいて12時過ぎに解放された。

- ・ 今回の紀行が続行出来ることになってよかった。さてこれからどうしよう。天気は快晴。どうせ丸一日も掛かるような所では無いだろうと考え、旭山動物園へ行くことに。腹が減ったな、朝飯はチョコスティック3本とトマトとキュウリとコーヒーだけだ。旭山動物園に行けば食堂ぐらいあるだろう。近いと思ったら旭川から10kmも離れていてかなり遠い。金曜日の平日だ



と云うのに(夏休みだね) 駐車場は車であふれている、当然人も溢れんばかりの混雑だ。駐車場 500円、入園料 800円払って西門から入場。人をかき分けて歩くほどの混雑。夏の太陽は容赦なく照りつけるし、腹もへっているしなんとかしてよ! ペンギン館、あざらし館、白熊館は このくそ暑いのに長蛇の列。

- ・腹ごしらえと食堂（レストランなどという代物ではない）を覗いたが人で溢れかえり、では弁当でもと思えばすべて売り切れ、昼抜きか！ 小汚い出店で 450 円なりの天ぷら蕎麦にやっとありついた。それでもあの有名な「あざらしの水柱」くらいは見て帰らないと話しにもならないと思いき長い列に並んでやっと見た。どおってことないな。白熊館は並ぶのもばからしくてパス。夏はペンギンの行列もないし、結局 2 時間余歩いて人だけ見て旭山動物園を後にした。有名な旭山動物園といっても見せ場はオランウータンの綱渡りとペンギン、あざらし、白熊と狼くらい、あとは猿などチョコチョコで見物人だけが多くいる小さな動物園だ。真夏に来るところではないぞ。地獄の動物園だった。
- ・旭川の街に戻りダイソーで買い物をし、富良野岳の基地、吹上温泉・白銀荘に電話すると、週末の土日にもかかわらず宿泊 OK とのこと、ラッキー。早速ダイソーと同居の生協（COOP）で食料を調達し、4 時過ぎに白銀荘に向かった。美瑛からは一本道、ばんばん飛ばして、5 時 15 分に到着、富良野岳が真っ青な空をバックに美しくそびえる。

- ・昨年も泊まった白銀荘は自炊だが期待通りに良い宿だ。フロントで 2 泊の手続きをとってから車に戻って今日の整理と明日の富良野岳の準備をして入室。今日も暑かった。



白銀荘前の駐車場

- ・まず温泉にはいる。去年も入ったのだからあまり記憶がない、今見るとなかなか良い風呂で露天風呂もすばらしい。7 時に食堂で夕食、お総菜を肴に缶ビールを 2 本飲みながら明日のコースを検討する。

セイコマートで買ってきた天津井を食し 8 時過ぎに就寝。

明日は 念願の富良野岳、4 時に起床予定。

8 月 9 日（土） 十勝岳 曇

○今日は 富良野岳の予定だったが、朝から雨模様なので十勝岳に変更した。

- ・オイオイ雨だ！ 昨日あんなに晴れていたのに朝 4 時に起きると外は激しく雨が降っている、今日の山は中止するか。とは云っても未練がある。4:30 にサンドイッチとメグミルクの朝食をとり外の様子をうかがうと雨は殆ど止んで濃い霧がたちこめている。去年は十勝岳温泉まで行ったら雲の上に出てガスが晴れた経験があるので、とにかく十勝岳温泉まで登ってみることにする。期待に反し十勝岳温泉は時々小雨が降る霧の中、気温も 9 度で寒いし風が強い悪天候。おまけにどうもゴアテックスの雨具を家に忘れてきたようで雨具無し。こりゃだめだ！ 30 分ほど天候の様子をみたが回復の兆しが見えないので登山を中止し白銀荘へ戻った。食堂でコーヒーを飲み煎餅をかじりながら日記を書いている。今日は美瑛の散策にでも出かけるか。でもちょっと待てよ！外が何となく明

るようになってきた。テレビの天気予報を見ると午後には天気は回復するとのこと。今からじゃ富良野岳は無理か、では十勝岳に行くか。急遽十勝岳行きの計画に変更し、十勝岳展望台へ車を走らせた。

- 8時30分、展望台駐車場はまだ霧雨状態で気温10度。いくら探しても雨衣ゴアテックスが見つからない、本当に忘れてきたようだ。どうしよう、今後のことを考えても最大のミスだ。仕方なく下はオーバーズボンをはき、上はTシャツにチョッキで傘をさして歩き始める。登り3時間半のコース。はじめの溶岩のだらだら坂を登る頃は小雨交じりで傘をさしたが、そのうち雨は止み霧の中を歩く。九十九折りの道を昭和噴火口まで、さらに砂の尾根道を足跡を頼りに歩き、最後の標高差300mある頂上への急坂の岩場では濃い霧と強い風に吹かれて凍るように冷たい。コースタイムよりかなり早く11時25分に山頂に立った。岩場で強風で霧が濃くて視界ゼロ。岩場の陰に風をよけて昼食をとる。



登山口「望岳台」



十勝岳山頂

- 山頂にはジャージ姿の高校生の男女がいっぱい、可愛い女の子も大勢いて山岳トレーニングをしているようだ。指導の先生と思われる人が数人、上ホロカメットクや美瑛岳とトランシーバーで連絡し合っている。上ホロカメットクから来てこれから美瑛岳をまわって下山するようで、みんな元気でケロツとしている。若いとはいえすごいトレーニングだね。



途中イワブクロが

- 何しろ寒いので昼食もそこそこに11時50分には下山開始、全く休まず歩きっぱなしで13時50分に展望台の駐車場に着いた（2時間休まず歩いた）。途中一部霧が晴れて頂上付近が見えたりしたが、殆ど視界ゼロ。道端にはイワブクロ、メアカンキンバイ、イタドリ、エゾオヤマノリンドウなどが咲いていた。標高1300mまで下ると途端に雲の下に出て霧が嘘のように晴れた。下には美瑛の丘が一望され真夏の太陽に輝いていた。



下には美瑛の丘が一望され真夏の太陽に輝いていた

• まだ日は高いし、よしこれから美瑛の丘へ行こう！ 2時過ぎに展望台を後にして美瑛へ車をとばす。真っ直ぐ美瑛に向けて下る道は延々30km近くもある。まずかわいいJR美瑛駅に寄ってから道の駅「びえい丘のくら」を探したが、なんと道の駅といいながら駐車場が殆どない単なる箱ものだ。車と人で溢れている。この道の駅にはまず泊まれない、今までの道の駅のイメージとは全く異なる。とにかくラリーのスタンプを押してから、この小さな街雨具を調達すべくスポーツ店を探して歩く。やっと見つけた小さな店には山用品など全く置いていない。明日の富良野岳の晴天を期待してここでの雨具調達はあきらめた。

• 車を美瑛の丘へ走らせる。山と違いここは快晴、ケンとメリーの木、マイルドセブンの丘、西展望台など以前恵子をつれて家族で来たのが懐かしい。西展望台からは今登ってきた十勝岳などの山々が黒い雲で頂上を隠して連なるのが見える。北の端には遠く天塩岳が独立してそびえ、来年は登ってみたいなと思った。



• セイコマートで今夜の食事と明日予定の

富良野岳の食料を調達して、一路白銀荘へ。 帰ってみると、ものすごい車と人！ なんだこりゃ、そうか今日は夏休み最初の土曜日だ。温泉入浴ツアーがバスで来ているし、ベランダでは大宴会で賑やかだ。今日の行動記録の整理と写真のパソコンへの取り込みを済ませてから部屋へ入る。フロントで昨日、今日と2泊の精算も済ませ今日記を書いている。そろそろ風呂へでも行くか。

• 明日は天気良さそうだ。7時には夕食を済ませ8時過ぎに就寝。周りが騒々しい。

8月10日(日) 富良野岳 快晴

○今日は 快晴の富良野岳を登った。固有種のエゾリソウにも出会えた。しばらくの間天気が安定しているようなので、下山後羅臼に向けて移動し途中鹿追で泊まった。

• 朝4時、青空がいっぱいの期待で目が覚めたが外は霧がかかっている、でもこの霧はすぐに晴れる朝の霧だ。いつもの通りメグミルク(今朝は電子レンジで暖めた)とサンド

イチの朝食をとりトイレも済ませて5時半に出発。もう起きて朝の掃除をしている宿のおじさんとお姉さんに挨拶し白銀荘を後にする。

- ・ 6時前に十勝温泉・稜雲閣前の駐車場に着いたがもう10台以上の車が来ている。今日は夏休み最初の日曜日だ！ おまけに朝の霧は嘘のように晴れて雲一つない快晴。登山者カードに記入してよいよ富良野岳の登山開始(6時)。眼前に聳える富良野岳を右手に見ながら長い砂利路をしばらく登り、去年はここで引き返した安政の噴火口の分岐を通過して、いよいよ登山道にとりつきここから花の富良野岳が始まる。日曜日のためか結構登山者が多く私の前後にも数パーティー歩いている。まず長いトラバースの後、沢を渡ってから急坂の登りが始まり高度をぐんぐんと稼ぐ。左手に上ホロカメットクや昨日登った十勝岳が見えてくる。このあたりから徐々に花が増えてきて写真を撮るのが忙しくてなかなか行程がはかどらない。キオンがそこいらじゅうに咲き乱れ、ウサギギク、ヨツバシオガマ、ウメバチソウ、エゾオヤマノリンドウ、イワギキョウなどがあとから

あとから目の前に現れる。

尾根に出て上ホロカメットクとの分岐を過ぎると頂上までの最後の



急坂。振り返ると昨日は厚い雲を被って全く姿を見せなかった十勝岳が遠くその雄姿の全容を現している。頂上までの急坂はお花畑の中を歩くまさに天空の楽園だ。チシマフクロ、ウサギギクが斜面一面に咲き、リンドウやキキョウがその中に咲き乱れている。写真を撮りまくりやつのことで頂上にたどり着いた。快晴の富良野岳山頂からの天望はすばらしい！ 360度雲一つない青空。十勝岳が荒々しく尖った姿を見せ、上ホロカメットクを越えて十勝岳方面へ続く尾根道が延々と続いて見える。足元を見れば美瑛の畑が美しいモザイク模様を見せている。この景色に云うこと無し。

- ・ 9時過ぎに頂上に立ち 360度の天望を楽しんでいたが、ほんの15分も経たないうちに十勝岳方面から雲が湧きだした。9時半に下り始めた時にはもう十勝岳は雲の中に隠れて見え



お花畑の中を歩く



なくなっていた。早朝登山の重要性を思い知らされたラッキーな富良野岳だった。



エゾリリソウ

さらに下り道、頂上のすぐ下で富良野岳の固有種「エゾリリソウ」を発見、写真に収めることが出来た。もう花の時期には遅いが何輪かの花もしっかり付いていて大収穫だ！

・あまりの天気の良さと花の多さに写真を撮りまくったため、下りの途中でメモリーが一杯になってしまい下り道では花も景色も撮ることが出来なかった。駐車場に 12 時着、すっかり曇ってしまい気温 17 度、日差しが無いので寒

い。早々に駐車場を後にする。次は羅臼岳に登る予定なので羅臼方面へ向かい走る。

- ・さて今日はどこへ泊まるか。士幌の道の駅には温泉があるので士幌をめざす。富良野まで下るとすっかり雲も晴れ、真夏の太陽が照りつけて暑い。道の駅「南ふらの」は昨年も寄ったがキラキラ太陽の下、車と人でごった返している様子は今年の記憶全く同じだ。特にここはライダーが多い。

- ・一路帯広方面に向けて南下、時速 70km くらいで快調に走る。ガソリンが無くなったので途中の新得で給油、カードだと 4 円も高く @189 だと！ 現金はめんどくさいのでカードで払ったら 8000 円強も取られた。ここから北上して鹿追方面に向かう。

4 時過ぎに道の駅「しかおい」に着いたら、これがまた設備も良いし広いしすばらしい駅だ。事務所のおじさんに「温泉はないの？」と聞いたら、「隣の清水町（車で 10 分くらい）に町営の日帰り温泉がある」と親切に教えてくれた。よし今日はここ「しかおい」に泊まることに決めた。早速清水町の町営温泉へ向かう。



清水町温泉

- ・広々と広がる畑の中の道を 10 分ほど走ると、突然立派な建物「清水町温泉」が現れた。なんだこりゃ！ 建物も立派なら設備もすごい、畑の中の別天地だ。清水町は金持ちの町だな。入湯料 500 円でゆっくりと温泉に浸かり今日の疲れを癒した。内湯から露天風呂へ出るとプンと牛糞のにおいが漂ってくる。

- ・道の駅に戻り場所を決めてから泊まりの支度。事務所のおじさんの話では今年は泊まる車が少ないとのこと、そういえば広い駐車場に車がチラホラ、ガソリンが高いせいかな？
- ・今日は天気が良く景色も花もすばらしかったので写真を撮りまくった。そのため1Gのメモリーを使い切り下り道では何も撮れなかった。その写真をパソコンに取り込んでから、焼き鳥でビール、野菜たっぷりのラーメンで夕食、結局ビール3缶。



道の駅「しかおい」

- ・いい気分ですぐに寝て、まだ8時。とにかく大満足で熟睡！

8月11日(月) 移動(富良野 ~ ウトロ) 快晴

○今日は 明日の羅臼岳登山のため、ひたすらウトロに向けて移動した。泊まりは道の駅「うとろ・シリエトク」

- ・大満足の熟睡から5時に目覚めた。あたりはどんよりと曇っていて寒い。長袖シャツにジャンパーを羽織った。昨日残した梅おにぎり一個と具たくさんのみそ汁にトマトで朝食をとる。この駅には外に水道が整備されていて炊事洗濯ができる。早速洗濯にとりかかる。下着2組、チョッキ、靴下、手ぬぐいハンカチを洗いハンガーに吊して干す。さてこれからどういう行動をとろうか、途中白雲山にでも登りながらウトロ方面へ向かおうかなどルートを検討中に雲も晴れ日が差してきた。天気予報によると全道晴天で、この晴天は水曜日あたりまで続きその後は崩れるという。
- ・今回のこの山紀行は昨年断念した羅臼岳に登るのが大きな目的だ、天気が安定なうちに羅臼岳へ登らなければならない、今日中に羅臼岳の基地、道の駅「うとろシリエトク」に着きたい。道はまだ300kmもあるのでウトロへ直行する事に決定。ナビで道の駅「うとろシリエトク」を探しても、昨年できた新しい駅なので私のナビには載っていない。地図で羅臼近辺を指定して出発したらナビが狂いだし、ナビを頼りに走ったら全く方向違いの音更へ来てしまった。おかげさまでスタンプラリーの駅が一つ増えた。ナビの電源を切って再立ち上げしたら正常に復帰したので、今度はナビ頼りでウトロへ向け正常に走り出した。これから長いドライブ、途中道の駅に寄ってスタンプを集めて走ろう。
- ・まず土幌で道の駅「ピア21しほろ」によってスタンプ。昨日はここまで来て泊まる予定だったが途中の鹿追で泊まってしまった。



道の駅「足寄湖」

この駅は小さくて煩雑で泊まるのには適さない、鹿追に泊まって良かった。次の駅は「足寄湖」、ここはメルヘンチックで実に美しい所、可愛い2階建ての駅舎が丘の上に建っている。ただ駅舎は小さく外のトイレが無いので宿泊には適さない駅だ。遠く足寄湖を見下ろしながらメグミルクとバターパンで昼食をとった。次は「オーロラタウン93りくべつ」、鉄道の陸別駅と同居しているようで立派な建物だが、繁華街のど真ん中。人も車も一杯で騒々しく、真夏の太陽にガンガン照らされあまりの暑さに早々に退散した。セイコマートに寄って明日の羅臼岳用の弁当と今夜食用の具を購入し、腹が減ったので100円のミートソースで腹ごしらえする。



道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」

- 先を急ごう！ 津別を通り女満別へ。

「メルヘンの丘めまんべつ」はその名の通りなかなかメルヘンチックな駅で、ここなら泊まっても面白そうだ。網走へ出てから海岸線を一路東へ、ウトロへ向かって走る。道の駅「はなやか小清水」に寄りスタンプだけ押してさらに東へと走る。小清水原生花園とオシンコシンの滝は、昨年も来たので今年は通過、先を急ぐ。

- 目的の道の駅「うとろ・シリエトク」に4時前に到着した。今年うとろ港の近くに開設した新駅で、建物も駐車場も広くてなかなか良い駅だ。立派なキャンピングカーが何十台も並んでいて今までの道の駅とはちょっと変わった様相を呈している。



道の駅「うとろ・シリエトク」

- 今夜はここに泊まって明早朝に羅臼岳の登山口、岩尾別温泉に行くことにする。岩尾別温泉までは車で約30分、明朝は5時にここを出れば良いだろう。

- キャンピングカーの並ぶ駐車場の一角に車を止め、今日の長い行程の整理をし、ベッドメイキングをし、5時半過ぎからビールとカルビで夕食に入る。今日は一日中車の中で、汗をかかなかったので風呂は無し（この駅に風呂設備は無い）。天気は快晴、明日も天気は良さそうだ、気温は寒いくらいに涼しい。夜食は豚サラダ、豚カルビにビール2缶、メインはミックス野菜を突っ込んだ中華そば、日記を書きながら完食。

明日の羅臼岳を夢見ながら7時就寝。 Good Night !!